

審査の結果の要旨

氏名 ハミド ファルハデイ

Hamid Farhady 氏の学位申請論文は、「Exploring Benefits of Deep Data plane Programmability Through In-Network Processing Use Cases (ネットワーク処理ユースケースに基づくディープデータプレーンプログラマビリティの利点の探求)」という題目にある通り、通信基盤のデータプレーンのプログラム性の便益をネットワーク処理のユースケースにより示すことを目的としている。SDN を拡張しデータプレーンのプログラム性を高度化する DPN (Deeply Programmable Networking)のユースケースとしてコアネットワークのスイッチの簡略化やセキュリティの強化を行うためのネットワーク機能をスイッチ内に実装するなど、様々なユースケースから SDN の拡張が有益であることを示す論文である。

審査委員会では、(1) 実際にプログラム性を利用する際の API の定義 (2) 提案技術の適用領域としてインターネットのどの部分に適用するのが適切であるか (3) 提案技術は社会に対してどのような便益をもたらすのかなど、今後の発展としての質問が多くあり、すべてに明確に回答がなされた。本分野の研究は、最近になってようやく非常に活発な研究活動が展開されている。このことから本論文は非常に先駆的な成果であると言える。

また、Farhady 氏の在学中の業績は査読付きジャーナル 2 本、招待ジャーナル 1 本、査読付き国際学会論文 7 本、査読なし学会論文 9 本と十分な実績があることも評価された。審査員は全員一致で合格の判断をした。

よって本論文は博士 (学際情報学) の学位請求論文として合格と認められる。